

全員が主役、仲間とやりきる運動会

5月21日、3年ぶりに保護者を迎えて運動会を実施しました。全校児童と教職員を合わせ、約630名が運動場に集まりました。感染症予防のため、応援団以外の団員は声を上げることはできませんが、優勝をめざす気持ちは一つです。応援練習は、2週間という限られた時間の中で、動きをそろえてきました。その成果を発揮するときです。



「咲き誇れ！富小生 ～全員が主役、仲間とやりきる～」をスローガンに、力強い選手宣誓で運動会の幕が開きました。競技は、個人種目と団体種目の2種目、そして団対抗全校リレー、わくわく班による球投げを加えた全14種目です。どの種目においても、最後まであきらめずに挑戦する姿が見られました。応援合戦では、両団とも緊張感のある応援が繰り広げられました。競技に臨む子どもたちに対して、参観者からは温かい拍手が送られました。

運動会を支えたのは、5・6年生です。全員が係会の役割を持ち、一人一人が責任をもって取り組みました。係の仕事をやりきるために、仲間とともに相談しながら上手に行う方法を考えたり、準備や移動にも全力で走ったりする姿に成長を感じました。

運動会以降の熱中症対策

5月20日には、政府から発表された熱中症に対するマスクの取扱いを踏まえて、運動会以降の熱中症対策を伝えました。指導した内容は次のとおりです。

- ① 屋外では、命を守る距離（お互いが手を広げて届かない）をとってマスクを外してもよい。
- ② マスクを外したら、しゃべらない。（ランチルームと同じ）
- ③ 頭痛や気分が悪い時は、調子がよくなるまでマスクを取ってもよい。

2年間にわたってマスク着用の指導を徹底してきたこともあり、すぐにマスクを外すことのできる児童は少ないです。また、マスクを外すことや外さないことで、不安を感じる児童も考えられます。しかし、暑さによる熱中症が気になる時期になりました。登校時は、ご家庭でもマスクの着脱についてご指導をお願いします。自分で考えて行動のできる子どもに育てていきましょう。

1年生と仲よくする会の開催

4月27日、6年生は、1年生となかよくする会を開催しました。感染症対策をとり、楽しんでもらえるように工夫した企画です。学校生活についてのクイズを出題したり、ゲームをしたりして、楽しい時間を過ごしました。手作りのメダルを1年生一人一人の首にかけながら、学校生活の楽しさを伝える姿に、最上級生としてのやさしさと頼もしさが見られました。

